

# 観光ルート共有を中心としたSNSによる旅行計画支援システム Itinerary-Focused SNS Travel Planning Support System

水田侑那<sup>†</sup> 宮治裕<sup>‡</sup>  
Ichiro System<sup>†</sup> Yutaka Miyaji<sup>‡</sup>

<sup>†</sup> 青山学院大学 社会情報学部

<sup>‡</sup> School of Social Informatics, Aoyama Gakuin University.

## 要旨

本研究は、ユーザーに適した旅行計画の作成を支援すること目的としている。既存の SNS やその他の情報収集手段では、行きたい場所が決まらず、事前の計画に手間がかかることが多いため、効率的に旅行ルートを共有・閲覧できるプラットフォームが重要である。そこで、観光ルートを目的に応じて検索・閲覧・投稿できるシステムを開発し、ユーザーが他者の経験を参考にしながら、より効率的に旅行計画を立てることで、計画支援できるかを効果検証する。

## 1. はじめに

旅行に行く際の事前計画には、時間がかかる。旅工房による調査[1]では54%の人が2泊3日以内の旅行計画をたてる際に3日以上費やすと回答した。また、その際の計画に対して70%の人が手間がかかる、難しいと感じている。また近年では旅行計画をたてる際に SNS がよく利用されている。10代20代の女性では旅行に行く際の最重視した情報として SNS がトップであった。同年代男性においても、宿泊施設のサイトなどの予約にかかわるサイトに続いて割合が多い[1]。

これらの問題点として、ルート決めでの苦労点、経験や知識の不足、現状の SNS の問題が挙げられる。どのような点で苦労するか本研究にて調査したところ「行きたい場所が決まらない」という意見が最も多かった。またよりよい旅行計画をたてるために足りない点として最も多かった回答が「知識」であり、続いて「経験」が多い結果であった[2]。また現状の SNS の問題点について調査をおこなったところ、「調べていた場所とは別の場所も関連で出てきてしまう」や「期間が終了しているものがでてくる」といった意見が得られた。

これらの背景より、旅行計画立案時に、ほかのユーザーが以前に行った旅程を閲覧できるようにする SNS によって旅行計画の支援をすることが本研究の目的である。本研究では、ほかのユーザーが実際に行った旅程を記録し、それをほかのユーザーが閲覧できるようにしたシステムを構築する。また提案システムにより、旅行計画の作成の支援に貢献できるかを、評価実験において検証する。

## 2. システム

本システムは、旅行の日程計画時に使用することを想定して構築した Web アプリケーションである。本システムを使用することで、ほかのユーザーが共有した旅行ルートや日程表を参照し、アイデアや計画のヒントを得ることができる。

システムの実装にはフロントエンドに用い、バックエンドには Python のフレームワーク Flask を使用した。またユーザー情報やユーザーの投稿の内容保存のために MySQL データベースを利用している。

### 2.1. ホーム画面

ホーム画面では他のユーザーが投稿した旅行の日程表を一覧になって表示される。本画面ではタイトル、投稿したユーザー、旅程の時間と場所が表示される。投稿を探すときには上部にある検索機能を利用することができる。検索機能では、都道府県、ユーザーネーム、タイトルで検索をかけることができる。この機能によりユーザーは自分の行きたい場所、目的、興味のある人の投稿を効率的に探すことが可能である。



図 2.1 ホーム画面

## 2.2. 詳細画面

ホーム画面にある投稿を押すとその投稿の詳細のページに遷移する。詳細画面ではホーム画面に表示されているより詳細にユーザーの投稿を閲覧することができる。表示する内容はタイトル、投稿したユーザーの名前、都道府県、コメントと旅程である。旅程の内容は時間、時間ごとに訪れた場所、場所の感想などを記入できるようにしたコメント、そこまでの交通手段である。ログインしているユーザー自身の投稿の詳細ページには削除ボタンを設置しており作成したものを削除できる。また詳細画面にはスケジュールのコピー機能を作成した。コピーした投稿は自分のプロフィール画面から確認できる。気に入った投稿を保存し、実際に計画作成の際にそれを基にして編集をすることができる。



図 2.2 詳細画面

### 2.3. 投稿作成画面

ホーム画面にある新規投稿作成ボタンを押すことで旅程の投稿作成を行うことができる。投稿にはタイトル、都道府県、コメント、旅程を入力する。旅程には時間や場所、おすすめ情報や注意事項、感想など場所に関する事などが入力できるコメント、そこまでの交通手段を入力することができる。投稿するとほかのユーザーにも公開され、ほかのユーザーが旅行に行く計画をたてる際に参考にすることが可能になる。

### 2.4. ユーザープロフィール画面

ユーザーの名前を押すとそのユーザーのプロフィールの画面に遷移される。ユーザープロフィール画面では、上にあるタブを選択することで、そのユーザーが投稿した日程表、ユーザーがいいねした投稿、ユーザーがコピーした投稿を閲覧できる。コピーした投稿には編集ボタンがありそれを押すと、コピーした旅程を基にして自分の好みになるように編集し保存することができる。

## 3. 実験

本研究では、本システムが、旅行に行く人々が事前に計画をする際の効果的な作成支援手段であるかどうかを検証することを目的として、この目的を達成するために、既存の SNS や Google 等での検索による計画手法と今回開発したシステムを用いた計画手法を比較し効果を検証する。

実験は参加者をランダムに A グループと B グループの 2 つに分けて行う。

A グループでは、今回作成したシステムを使用する。B グループでは、既存の SNS や Google 等の Web 検索を使用する。参加者には旅程計画（時間・行く場所・交通手段）をたててもらい、日程をたてる際の概要として友人と 3~4 人、観光地を 3~5 か所手度、京都駅 10:00 スタートで 19:00 京都駅まで、移動手段は徒歩または公共交通機関を利用する、という同じ条件を指示する。実験結果の評価は計画にかかった時間とアンケートに基づいて行う。

分析手法としては、ウィルコクソンの符号付き順位検定を採用する。この検定方法は、順序尺度のデータに適しており、同じ参加者が 2 つの異なる手法を体験するという本実験の設計に適している。この分析を通じて、その優位性や課題を明らかにする。

## 4. まとめ

本研究では、旅行に行く際にほかのユーザーが以前にたてた旅行日程を提供することで、事前計画の支援をするための SNS を開発した。

評価実験では提案システムを被験者に使用してもらい、そのアンケート調査や時間の比較によってシステムを評価した。現在、ユーザーによるシステムの評価を行っており、既存の SNS や Google での検索による計画方法と比較して効果検証を進めている。

## 参考文献

- [1] 旅工房. 7 割が旅行の「計画疲れ」に悩む！気づくといつも同じ「マンネリ旅」を 6 割以上が経験！  
<https://about.tabikobo.com/wp-content/uploads/2018/06/tabikobo180604.pdf>
- [2] じゃらんリサーチセンター. 国内宿泊旅行ニーズ調査 2024 春  
[https://jrc.jalan.net/wp-content/uploads/2024/03/teavel-needs\\_2024spring.pdf](https://jrc.jalan.net/wp-content/uploads/2024/03/teavel-needs_2024spring.pdf)